

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスモア山川校		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ~ 2026年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ~ 2026年 2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別・集団・小集団での活動	日々違ったプログラムを計画・実施し、支援が固定化しないようにしている。ニーズや児童の姿に合わせて個別支援・小集団・集団と差別化して行っている。(製作・運動遊び・SSTなど)。様々な活動を通して様々な経験ができるように支援している。	職員の専門性を高め、支援の幅を広げられるよう研修などに参加します。
2	定期的に通信やHPなどにより保護者に対して情報発信すること	SNSなどで日頃の療育・活動の様子を随時発信しています。	今後も発信を続け、療育の様子や児童の成長などを感じられるような取り組みを続けていきます。
3	定期的に保育参観等を実施し、直接見てもらう機会を作っていること	参観の期間を1日に限定せず複数日設けることで、たくさんの方の保護者様に参加いただけるよう工夫した。	参観へたくさんの方の保護者様に来ていただけるよう、今後も定期的に企画し機会を作ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域と連携する機会が少ない	地域の児童クラブや自治会の催しなどに参加する機会がないので、交流する機会をけんと検討していきたい。	日頃より情報を集め意欲的に参加していきます。地域のお祭りなどを通して関わる機会を作ります。
2	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し保護者に周知・説明がされているか。	事業所内ではマニュアルを作成し、共有できているがその取り組みを周知できていない	周知の方法や頻度を見直し、保護者に認識してもらえるように工夫します。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない。	支援者自身も研修等に参加する機会が少ない。	支援者が研修などに参加し、保護者に対して支援ができるような体制づくりをしていきます。